

公共交通機関を考える

デマンドバスについて

市では平成23年度に策定した「下呂市公共交通計画」に基づいて、市内の交通体系の見直しを行っています。利用者が少なく、運行を継続することが困難なバス路線について、地域公共交通会議などで協議し、需要量に応じた交通サービスの提供を目指しています。

この度は、下呂（中原、上原のみ）・金山地域で運行しているデマンドバスについて紹介し、地域の公共交通を考えます。



金山病院前に到着したデマンドバス



◎デマンドバスって何？

平成20年度から運行しているデマンドバスは、交通空白地帯の解消を目的として導入されました。

「デマンドバス」とは通常の路線バスとは異なり、予約があった時のみ運行する方式のバスで、市内では下呂地域（中原と上原のみ）と金山地域において、運行しています。これまで、下呂地域のデマンドについては「久野川まわり（久野川～中原診療所～下呂駅前）」と「蛇之尾まわり（門和佐大野・東部～蛇之尾・大鹿野～下呂駅前）」の2つのルートでしたが、今年4月から「中原～金山まわり」と「上原～金山まわり（中原経由）」

の2つのルートが新たに加わりました。運行ルートは、曜日ごとに異なりますのでご注意ください。

ルートやダイヤなどについては、濃飛バス下呂営業所か市役所の経営管理部地域振興課までお問い合わせください。

◎予約方法は？

利用日前日の午後4時までに、濃飛バス下呂営業所（☎25-2126）へお申し込みください。（車両は10人乗りワゴンです）

利用料金は、片道大人500円、小人100円で、年間利用券が6千円（購入日から1年間有効）で購入できます。

デマンドバスは予約すればだれもが利用できますが、年間利用券を購入できる方は、65歳以上の方や福祉関係の手帳をお持ちの方、自動車などの運転が困難で移動手段のない方に限ります。

公共交通の維持のために

「公共交通機関」といっても、市が運行する事業としては、採算が取れないと事業継続が困難となります。

交通手段がない方への「足」の確保のために、市が運営しているデマンドバスやコミュニティバスの事業費は、年間約1億1千万円かかっています。その内4分の1は県からの補助金で、残りは下呂市の財源によって賄われています。

今後市では、より利用しやすい時間帯や本数などを検討し、既存の交通手段の活用も考慮しながら、地域や利用者へのニーズに応じた交通体系の整備を行っていきます。

利用しないことで、今までの公共交通機関がなくなってしまう、といった負の連鎖が生じないようにするために、市民の皆さんの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

【経営管理部 地域振興課】

ごみ処理を考える 資源ごみの再生は…

昨年度から、市民の皆さまにお知らせしていました「ごみ処理事業シリーズ」について、今年度もシリーズで掲載いたします。私たちの日常生活に欠くことのできない、大切なごみ処理事業への皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

今回から3回にわたり、下呂市クリーンセンターに集められる蛍光灯、新聞・雑誌、ペットボトルの資源ごみなどのように再生されているかを紹介していきます。

平成24年度に下呂市クリーンセンターに搬入・収集運搬された「使用済み蛍光灯（以下、廃蛍光灯）」は8.4トンです。集められた廃蛍光灯はクリーンセンター内で専用の蛍光灯破砕機によって破砕し、ドラム缶に収納します。満タンになったドラム缶は、北海道にあるリサイクル施設に運搬され、全国か

ら搬送された廃蛍光灯とともにリサイクルされます。廃蛍光灯からは、アルミ、ガラス、水銀のそれぞれに選別され、新しい蛍光灯の材料として使用されるなどしてリサイクルされます。このように集められた廃蛍光灯は、ほとんどの部分がさまざまな原料に再生されています。市民の皆さまも資源ごみが有効に再利用されるよう、廃蛍光灯の適切な処理・処分について、より一層のご理解とご協力をお願いします。

蛍光灯のリサイクル工程

下呂市
クリーンセンター

収集・破砕
ドラム缶梱包

輸 送

リサイクル施設
(北海道)

搬入・選別
ガラス、口金部分
などを選別します

洗浄・選別

アルミ・口金

微細な異物や
水銀を取り除
きます

水銀の
リサイクル

回収された粗水銀が
精製され、高純度の
金属水銀(無機水銀)
になります

ガラスの
リサイクル

重量比で蛍光灯の9割
以上を占めるガラス部分
は、ガラス原料などとして
生まれ変わります

大学や
研究機関

蛍光灯製造工場、特殊
計測機器製造工場など

グラス
ウール

セメント
原料



水銀試薬は
各種実験、
研究に使用
されます

リサイクルされた水
銀やガラスカレット
は再び蛍光灯の材料
として使用されます

住宅用の断
熱材に使用
されます

アルミ
原料



●処分方法

購入した販売店、もしくは買い替える販売店に依頼してください。引き取り先のない場合は、下呂市クリーンセンター、または各振興事務所にお問い合わせください。

☎26・33007

【環境部環境施設課】



・冷蔵庫
・冷凍庫



・洗濯機
・衣類乾燥機



●対象品目
・テレビ
・エアコン



テレビや冷蔵庫などの 大型家電は販売店へ

一般家庭から排出される廃家電製品には、再利用することができるといわれています。この再利用を促進し、廃棄物を減らすために平成13年から「家電リサイクル法」が施行されています。